

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 5 年 6 月 1 日
-------	----------------

市所管部署	石巻市 産業部観光課
-------	------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
法人所在地	石巻市 渡波字大森 30 番地 2
設立年月日	平成 4 年 1 月 22 日
代表者職・氏名	代表理事 一力雅彦

設立目的・経過	慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。
---------	---

3 定款上の事業内容

- (1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
- (2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
- (3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
- (4) 海事思想の普及・啓蒙
- (5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外 の出資・出捐者	市以外 の者の 出資・出捐額	市以外 の者の 出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	0	0	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	1	2	2
うち市退職者	1	0	0
計	11	11	12
うち市職員	1	2	2
うち市退職者	1	0	0

(2) 職員

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	10	10	8
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	9	9	3
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	0
計	19	19	11
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	2	2	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事より、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。
①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
③船舶及び海洋に関する調査研究
④海事思想の普及・啓蒙
⑤宮城県の指定を受けて行う慶長遣欧使節船ミュージアムの管理運営
⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファンパウティスタパークの管理運営
⑦その他この法人の目的を達成するための必要事項

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期
慶長遣欧使節船ミュージアム入館料	円	目標計画	5,350,000	1,980,000	0	20,265,000	20,595,000
		実績	3,491,350	1,342,000			
目標・指標の説明		前年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響と令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い休館に入るため目標額を例年より低く設定した。再開館は、令和6年度中を予定している。					
目標未達の場合の要因分析		集客数確保のため、各種イベントやSNS等の情報発信ツールを活用した広報業務などを実施してきたが、復元船解体工事の完了やコロナ禍により、有料入館者が減少したことにより入館料が減少した。					

目標項目・指標	単位		令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期
慶長遣欧使節船ミュージアム入館者	人	目標計画	30,000	17,500	0	43,000	43,700
		実績	14,234	10,469			
目標・指標の説明		前年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響と令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い休館に入るため目標入館者数を低く設定した。再開館は、令和6年度中を予定している。					
目標未達の場合の要因分析		集客数確保のため、各種イベントやSNS等の情報発信ツールを活用した広報業務などを実施してきたが、復元船解体工事の完了やコロナ禍により、入館者が減少した。					

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①サン・ファン祭り ②おもてなし抽選会 ③GW特別企画 ④サン・ファン号を未来へつなぐコンクール ⑤館長歴史講座	①例年5月下旬に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため秋季に延期し3年ぶりに開催し来場者は3,000名。 ②宮城県制150周年記念観光キャンペーン期間中にオリジナルグッズ等が当たる無料抽選会を実施し参加者は7,166名。 ③ゴールデンウィークに合わせ高校生以下を対象にお菓子のすくいどりを、また親子レクチャー企画「こいのぼり」「かぶと」等が作れるワークショップを実施した。 ④県内の小中学生を対象に「絵画部門」「デザインマーク部門」の2部門の全応募作品151点を展示。 ⑤平川新館長を講師に世界史を中心としたテーマで歴史講座を開催し受講者252名。	復元船の解体・新型コロナウイルス感染症の影響・11月1日よりリニューアル工事に伴う休館等による入館者の減少を最小に努めるよう各種イベント・抽選会・企画展・コンクール等を行うことにより多くの来場者に慶長遣欧使節等の意義のPRに務めた。	①サン・ファン祭り…例年5月に開催していたが、コロナ禍により10月に延期し、出帆記念祭と合わせてオンラインで開催した。 ②サン・ファン・イルミネーション…11月1日～翌年1月31日まで行い、期間中の来場者数は15,634名で夜間来場者数は2,774名となった。 ③出帆記念イベント…コロナ禍のためサン・ファン祭りと合わせてオンラインで開催した。 ④市民団体による各種イベント…石巻JC企画として「ウッドレジソンワークショップ」をパークで開催し多くの親子が参加した。 ⑤サン・ファン・パワティスタ メリアルライトアップ…解体される復元船のライトアップをもう一度見たいという多くの皆様からの要望で、7～8月の1か月間、感謝の意を込めてライトアップを開催した。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業の公共性、公益性	復元船の解体に伴い施設の展示内容が大幅に減少したことから展示ロビーを活用した展示充実や、ミュージアム及び隣接するパークでの各種イベント事業により集客を図るとともにPRに務めた。
------------	--

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①シンポジウム開催 ②出張展示 ③ミニ企画展 ④冬季出張講座	①「新しいサン・ファン館に期待するもの」について開催、来場者52名。 ②牡鹿半島ビジターセンターが主催する催しにコーナー展として参加した。 ③石巻博物館の常設展示室でミニ企画展を開催、来場者422名 ④平川新館長を講師にサン・ファン号の呼び名について歴史背景を読み解きながら問題提起する講演会を開催、受講者296名。	復元船の解体・新型コロナウイルス感染症の影響・11月1日よりリニューアル工事に伴う休館等による入館者の減少を最小に努めるようシンポジウム等の開催や休館中における他施設を活用した出張展示・出張講座等を行うことにより多くの来場者に慶長遣欧使節等の意義のPRに務めた。	①シンポジウム…「牡鹿半島・海と浜の民俗学」としてシンポジウムを有観客での開催を予定していたが、コロナ禍により無観客開催とし、Webで公開した。 ②企画・特別展…企画展「サン・ファン・バウティスタ号をつくったふたり」(来館者数5,740名)、特別展「牡鹿半島・海と浜のトリビア10」(来館者数4,383名)を開催し、また、ミニ企画展を開催した。 ③館長歴史講座…コロナ禍のため対面による講座は中止としたが、報告書という形で発表した。 ④絵画コンクール…宮城県の小中学生を対象に、「絵画部門」「デザイン部門」2部門で作品を募集した。また、全応募数272点を展示、表彰式を行った。 ⑤体験学習…コロナ禍により中止とした。
事業の公共性、公益性	慶長遣欧使節団の目的が、我が国の外交使節であるとの史実に加え使節派遣の2年前に仙台藩を襲った「慶長大津波」からの復興もその要因の一つではないかと考えることから、その慶長遣欧使節の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する調査研究・収集・展示を行うとともに海事思想の普及・啓蒙に努めた		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表 (B/S)	借方(科目)	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	流動資産		105,808,405	98,819,554	▲ 6,988,851	96,127,852
うち 現金・預金		92,660,818	97,301,350	4,640,532	95,551,174	▲ 1,750,176
固定資産		1,135,960,973	1,113,930,029	▲ 22,030,944	1,070,107,469	▲ 43,822,560
(1) 基本財産		1,128,437,794	1,105,874,300	▲ 22,563,494	1,063,120,300	▲ 42,754,000
(2) 特定資産		0	0	0	0	0
(3) その他の固定資産		7,523,179	8,055,729	532,550	6,987,169	▲ 1,068,560
資産の合計		1,241,769,378	1,212,749,583	▲ 29,019,795	1,166,235,321	▲ 46,514,262
貸方(科目)		令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
流動負債		21,451,729	19,729,770	▲ 1,721,959	13,047,970	▲ 6,681,800
うち 短期借入金		0	0	0	0	0
固定負債		0	0	0	0	0
うち 長期借入金		0	0	0	0	0
負債合計		21,451,729	19,729,770	▲ 1,721,959	13,047,970	▲ 6,681,800
正味財産		1,220,317,649	1,193,019,813	▲ 27,297,836	1,153,187,351	▲ 39,832,462
指定正味財産		1,128,437,794	1,105,874,300	▲ 22,563,494	1,063,120,300	▲ 42,754,000
うち 基本財産への充当額		1,128,437,794	1,105,874,300	▲ 22,563,494	1,063,120,300	▲ 42,754,000
うち 特定資産への充当額		0	0	0	0	0
一般正味財産		91,879,855	87,145,513	▲ 4,734,342	90,067,051	2,921,538
うち 基本財産への充当額		0	0	0	0	0
うち 特定資産への充当額		0	0	0	0	0
負債・正味財産の合計		1,241,769,378	1,212,749,583	▲ 29,019,795	1,166,235,321	▲ 46,514,262

正味財産増減計算書	科目	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部		▲ 1,844,430	▲ 4,734,342	▲ 2,889,912	2,921,538
経常増減の部		▲ 1,772,430	▲ 4,662,342	▲ 2,889,912	2,993,538	7,655,880
経常収益		209,287,355	194,256,941	▲ 15,030,414	174,114,121	▲ 20,142,820
経常費用		211,131,291	198,847,777	▲ 12,283,514	171,120,583	▲ 27,727,194
評価損益等計		71,506	▲ 71,506	▲ 143,012	0	71,506
経常外増減の部		▲ 72,000	▲ 72,000	0	▲ 72,000	0
経常外収益		0	0	0	0	0
経常外費用		72,000	72,000	0	72,000	0
一般正味財産期首残高		93,724,285	91,879,855	▲ 1,844,430	87,145,513	▲ 4,734,342
一般正味財産期末残高		91,879,855	87,145,513	▲ 4,734,342	90,067,051	2,921,538
指定正味財産増減の部		▲ 8,549,906	▲ 22,563,494	▲ 14,013,588	▲ 42,754,000	▲ 20,190,506
指定正味財産増減額		▲ 8,549,906	▲ 22,563,494	▲ 14,013,588	▲ 42,754,000	▲ 20,190,506
指定正味財産期首残高		1,136,987,700	1,128,437,794	▲ 8,549,906	1,105,874,300	▲ 22,563,494
指定正味財産期末残高		1,128,437,794	1,105,874,300	▲ 22,563,494	1,063,120,300	▲ 42,754,000
正味財産期末残高		1,220,317,649	1,193,019,813	▲ 27,297,836	1,153,187,351	▲ 39,832,462

(※) 負の数の場合は、マイナス記号(-)を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い長期休館となり、流動資産(現金預金等)が入館者収入・仕入れ商品の減少により前年度より¥2,691,702減少した。流動負債(未払金等)も休館に伴い事業費用の減少により前年度より¥6,681,800減少した。このことにより純資産額は、前年度より経常費用の事業費・管理費の支出金額の見直しにより¥3,990,098増額した。
固定資産の基本財産(投資有価証券)は、期末時価評価額の減少により¥42,754,000減少したが、購入価格・額面価格よりは減少していない。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目		変動内容(単位:円)	変動要因
流動資産	現金預金・商品	2,808,756 減	休館に伴う入館料収入、商品仕入れの減少
固定資産	投資有価証券	42,754,000 減	投資有価証券期末時価評価額の減少
流動負債	未払金	6,721,263 減	休館に伴う事業費用の減少

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い長期休館となり、経常収益(指定管理事業収入・利用料金収入等)は前年度より¥20,142,820減少した。経常費用(事業費・管理費)は、非常勤職員の退職に伴う人件費の減少や保守管理費等の委託費の見直しで前年度より¥27,727,194減少した。このことにより、一般正味財産期末残高は¥2,921,538増額した。指定正味財産期末残高(寄付金・受贈投資有価証券)は、期末時価評価額の減少により¥42,754,000減少した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目		変動内容(単位:円)	変動要因	
経常収益	事業収益	指定管理者事業収入	18,183,655 減	休館に伴う宮城県指定管理料の減額
	事業収益	利用料金収入	2,149,350 減	休館に伴う入館料の減少
経常費用	事業費	給料手当	9,736,615 減	休館に伴うアテンダント人件費減少
	事業費	法定福利費	1,470,859 減	休館に伴うアテンダント人件費減少
	事業費	委託費	14,705,654 減	休館に伴う保守管理料の減少
指定正味財産増減の部	基本財産評価損	20,119,000 増	国債等の期末時価評価損額の増額	

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

復元船サン・ファン・パウティスタ号の展示は終了し、解体工事も令和4年7月末で完了しましたが、慶長使節の歴史、三陸・牡鹿の風土をテーマとした展示や、県制150周年記念事業や観光誘致キャンペーンなどの各種イベントを展示した。平成4年11月1日より、リニューアル工事に伴い休館となっておりますが出張展示や出張講座などを積極的に開催した。休館となり利用収入等の減少とはなりましたが、事業費・管理費の見直しにより当期一般正味財産は¥2,993,538の黒字になりました。キャッシュフローへの調整額も前年度より未払金の減額等により¥6,171,611の減額になりました。指定正味財産増加収入は、投資有価証券の期末時価評価額の減少により前年度より¥20,119,000減少した。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容(単位:円)	変動要因
キャッシュフローへの調整額	未収入金の増減額	11,669,625 減 前年度事業の未収入回収済みにより減少
	未払金の増減額	5,679,046 減 前年度事業の未払金支払により減少
指定正味財産増加収入	基本財産増加収入	20,119,000 減 期末時価評価額の減少幅が前期に比べ大きかったことにより減少
投資活動収入	基本財産取崩収入	10,401,523 増 国債等の期末時価評価損額の公益事業会計への振替額の増額

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の用途
高圧電力利用施設指定管理事業者電気料金支援金	450,000円	電気料金高騰に伴う電気料支援金

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容
指定管理料	40,000,000円	サン・ファンパウティスタパーク管理運営費

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位:円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

震災後、平成25年11月3日に再開館したが、平成28年3月より、復元船の老朽化のため乗船見学が中止となり、令和3年3月31日で現復元船の公開を終了した。

現在は慶長使節船ミュージアムのリニューアル工事（令和4年11月1日から令和6年度中まで（未定））に伴い、令和5年度中はミュージアムが閉館となることを考慮した目標数値及び事業計画を定められたと考える。

（2）主要事業の成果、課題

主要事業の一つであるサン・ファン祭りは3,000人の来場者数となり、従前と比較し来場者数の落ち込みが見られたものの、コロナ禍による中止等を経て3年ぶりの会場開催となり、今後も規模拡大等を図りながら多くの集客が期待される事業である。その他、おもてなし抽選会、絵画等作品コンクール、館長歴史講座等の実施により、観光客の利用促進、施設PR及び慶長遣欧使節文化の啓発が図られた。

昨年度に引き続き、令和5年度中はミュージアムが改修工事のため休館となることから、再開する令和6年度まで、パークを活用したイベントや企画展の実施等の効果的な誘客戦略を検討、実施する必要がある。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

株式有価証券の期末時価の変動による減少は見られるが、問題ないと思われる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

リニューアル工事に伴うミュージアムの長期休館により、宮城県指定管理者事業収入及び入館者収入が減少したが、アテンダント等職員の人件費の削減、施設設備管理委託料等経費の削減に努め、経営健全化が図られている。

(3) キャッシュフロー計算書

株式有価証券の期末時価の変動による減少は見られるが、問題ないと思われる。

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・バウティスタパーク指定管理料として支出している金額であり、今後も年度協定で定められた指定管理料において適正かつ効果的・効率的な運営に努められたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事跡並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。

また、ミュージアムのリニューアルオープンを地域観光産業活性化への契機とするため、オープンイベント、PRの実施、関連商品の制作等による効果的なプロモーションを実施するとともに、施設のロケーションや歴史・文化的背景を有効活用した誘客事業、他観光コンテンツと連携したパッケージの作成等、本市が目指す滞在型観光促進の一助となる事業展開を期待したい。